

# 学習指導力・ICT教育実践力 開発コース

インターネットを使って  
働きながら大学院で学べます



3～5年の長期履修で  
無理なく教職修士（専門職）  
の学位を取得できます



## 私たちのコースではこのような先生方の キャリア支援を行います

- 自らの学習指導のあり方に課題を見出し、自ら課題を解決しようとされている先生
- 中堅教員で学習指導をリードする立場にいる先生
- 学習指導と生徒指導を充実させた学級経営を念頭に、学校管理職を目指す先生
- 管理職の立場にあり、その知識や技能を将来、大学、民間教育機関等で活かそうとされている先生



## 学習指導力・ICT教育実践力開発コースに おける教育目標

- 高度な授業実践力・開発力をもち、GIGAスクール構想への対応はもちろん、ICTを活用した学校教育の未来を創る教師を育てることを目指しています。
- 学級経営や生徒指導を視野に入れながら授業計画を立て、実施と評価を行い、リフレクションを通して授業改善に取り組むことのできる教師を育成します。
- 教育工学、教育心理学、教科教育学、社会情報学等の専門的な知識・技能を教育実践に活かし、教科や総合的な学習の面白さや有用性を伝えることのできる教師を育成します。



## 遠隔教育プログラムの特徴

- スクーリングを用いた大学教員や遠隔学生との対面授業，web会議システム（ZoomまたはTeams）によるLive授業
- オンデマンド教材による自己ペースでの学習や研究
- 勤務校や日本の教育課題をタイムリーに連結させたリフレクション学習
- 全国の教員・通学生との交流による学習指導（ICT教育実践を含む）の視野を広げる機会

## 実践研究指導

- 現場での実践事例等についてリフレクション授業を中心に実践研究指導を行い，各自の教育実践研究として結実させます。
- 実践研究を通して実際に役立つ力としての教育実践力の育成を図ります。

## 修業年限と授業料

- 大学院の標準修業年限は2年ですが，遠隔教育プログラムでは，現職教員が働きながら無理なく学ぶことができるよう3～5年を選択できます。
- 授業料は2年分で，3～5年の場合はそれを3～5年で割った額となります。

## 教職大学院のカリキュラムと履修スケジュール

- 教職大学院のカリキュラムは，共通科目18単位（13科目）と専門科目18単位（おおそ10科目以上）および実習科目10単位（2科目）です。ただし，遠隔教育プログラムには，実習科目が免除される制度があります。
- 授業の内容や形態に合わせて，Semester（前期・後期）とクォーター（前期前半・前期後半・後期前半・後期後半）で区分し，1単位の授業はクォーターで，2単位の授業はSemester，4単位の授業は通年で完了するよう設定されています。
- 1週間で取組む授業は概ね4科目程で，オンデマンド教材により個々の都合に合わせた授業形態が基本となっています。
- 実践や実践研究をリフレクションする演習やゼミナール形式の科目は指導教員と日時を調整してweb会議システムで実施します。
- 学校が休業期間のスクーリングも選択できます。

## 学習指導力・ICT教育実践力開発コースの履修科目の例

### 〈共通科目〉

- カリキュラムデザインの理論と実践
- 教科カリキュラムの構成と理論
- 授業の理論と実践
- 教育評価の理論と実践
- 生徒指導の理論と実践
- 学級経営の理論と実践

### 〈専門科目〉

- 学習者の心理とアクティブラーニング
- 学校におけるICT活用と情報デザイン
- 校種間連携に視座した教材・教具の開発演習
- 教育評価の実際と事例分析
- 総合的な学習の時間のカリキュラム開発
- ワークショップ型研修の技法



非同期

オンラインの教材を読んだり，動画を視聴したりしながら学修します。

同期

Zoomなどを使って，リアルタイムに対話をしながら学修します。

### ◆ 入学試験日程

前期選抜試験

令和3年8月19日(木)

オンライン特別選抜試験

令和3年11月20日(土)

中期選抜試験

令和3年11月27日(土)

後期選抜試験

令和4年2月19日(土)

